

## 「九州情報通信連携推進協議会」の概要

## 1 設立目的

産学官の連携により、九州地域において情報化を推進し、誰もが安全・安心で快適な生活を送れるユビキタスネットワーク社会の早期実現を図ることを目的とする。

## 2 構成員（予定）

別紙2のとおり

## 3 役員（予定）

- 会 長 尾家 祐二（国立大学法人九州工業大学 副情報工学部長）  
 副会長 武井 俊幸（九州総合通信局 局長）  
 “ 稲田 修一（独立行政法人情報通信研究機構 理事）  
 “ 川島 宏一（佐賀県 最高情報統括監）  
 “ 山崎 正幸（社団法人九州経済連合会 情報通信委員会企画部会長）  
 （九州電力株式会社 情報通信本部電子通信部長）  
 “ 沖田 稔（財団法人九州ヒューマンメディア創造センター 専務理事）

## 4 活動内容

平成19年度事業として以下のような活動を実施する予定。

## (1) 連携支援事業

- ① 九州広域接続実験プロジェクト（小学校の遠隔交流等）の支援  
 JGNⅡと地域公共ネットワークを接続し、遠隔地の小学校間でリアルタイムの映像を活用した交流授業を展開  
 ※実施主体：次世代ネットワーク九州地区推進協議会
- ② ICTウィンタースクールの支援  
 高校生や工業高等専門学校生を対象とした遠隔講義。九州工業大学ほか3校程度で実施。各大学が講義を担当し、それを遠隔中継。  
 ※実施主体：九州工業大学、(財)九州ヒューマンメディア創造センター

## (2) イベント・会議

- ① 設立記念シンポジウムの開催
- ② 別府湾会議の遠隔中継の支援  
 ※実施主体：ハイパーネットワーク社会研究所
- ③ ICTワークセッションの支援  
 デジタルデバイドの解消やICT人材育成など、地域が抱える課題に関するワークセッションを実施。佐賀県や大分県、宮崎県などで順次実施  
 ※実施主体：各地の地域連携推進団体

## 九州情報通信連携推進協議会

### 構成員（予定）

#### ○ 産

社団法人九州経済連合会、九州電力株式会社、西日本電信電話株式会社福岡支店、株式会社KDDIネットワーク&ソリューションズ、ソフトバンクテレコム株式会社、株式会社ネットワーク応用技術研究所、株式会社海の中道海洋生態科学館、アボック株式会社

#### ○ 学

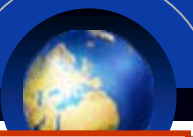
九州大学、九州工業大学、佐賀大学、長崎大学、大分大学、熊本大学、宮崎大学、宮崎公立大学、鹿児島大学

#### ○ 官

総務省九州総合通信局、独立行政法人情報通信研究機構、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、北九州市、福岡市

#### ○ 地域連携推進団体

財団法人九州ヒューマンメディア創造センター、九州インターネットプロジェクト、次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会、特定非営利活動法人NetComさが、社団法人九州テレコム振興センター、特定非営利活動法人熊本県次世代情報通信推進機構、財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、宮崎地域インターネット協議会



- ◆九州広域接続実験調査検討委員会の広域連携体制を継承し恒常化
- ◆地域情報化推進団体と連携し、九州全域に対して様々な地域情報化活動を展開

メンバーを移行

九州広域接続実験  
調査検討委員会

実証実験  
(教育、防災、地域メディア)

九州情報通信連携推進協議会

実証実験

デバインド解消

人材育成

啓発活動

連携

次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会

JGN2利用促進

連携・支援

地域情報化推進団体

(総管局, NICT, 自治体, 九経連, 企業, 大学, 地域ICT団体)



官公庁

！ 組織・地域の垣根を超えた広域的な連携体制の構築  
広域接続実験で形成されたコミュニティを恒常的なものへ

産業界

大学

地方自治体

各県ICT  
推進組織

Mission #1

**Alliance**

九州の一体感を形成  
情報流通を促進

## 九州情報通信連携推進協議会

九州全域を見据えた産学官連携体制の確立

Mission #2

**Action**

広域、かつ、効率的に活動

デジタルデバイト解消

ICT人材育成

ICT産業活性化

リテラシー向上

研究開発力向上

！ 九州全域に対し効率的で同時並行的な地域情報化活動を推進

# 平成18年度遠隔交流授業の実施状況

(別紙5)

JGN IIをブリッジとして地域公共ネットワークを相互接続した上で展開できるアプリケーションの検証の一環として遠隔交流授業を実施



実施校	学年	実施年月日	内容
金川中学校 (福岡県) 村所小学校 (宮崎県)	2年生 5、6年生	平成18年12月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両校生徒による学校紹介</li> <li>・金川校区に伝わる郷土芸能「吉田流本口説き太鼓」の実演を、金川中学校生徒自らが披露</li> <li>・その後、金川中学校で取り組んでいる「金川校区観光化プロジェクト」の紹介を、生徒数名で分担して発表</li> <li>・金川中学校からのプレゼンテーション終了後、両校生徒間で質疑応答</li> </ul>
金川中学校 (福岡県) 日出小学校 (大分県)	2年生 5年生	平成18年12月13日	
菊陽中部小学校 (熊本県) 日出小学校 (大分県)	3年生 3年生	平成18年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両校生徒による学校、地域の史跡・風習等の紹介</li> <li>・各々の学校紹介後、それに関連するクイズを出題し、相手校が回答</li> <li>・その他質問事項を各校生徒が自由に発言</li> <li>・最後に授業全体の感想を両校生徒が発表</li> </ul>
		平成19年3月8日	
菊陽中部小学校 (熊本県) 村所小学校 (宮崎県)	3年生 3年生	平成19年3月13日	



「九州情報通信連携推進協議会」  
設立総会・設立記念シンポジウム

- 1 日 時 平成19年10月4日(木) 14:00~17:15
- 2 場 所 アジア太平洋インポートマート(AIM) 8階 KTI小ホール
- 3 次 第

【設立総会】[14:00~14:35]

- (1) 発起人代表挨拶
- (2) 来賓挨拶
- (3) 参加団体紹介
- (4) 議 事
- ・規約
  - ・役員選出
  - ・平成19年度事業計画

【設立記念シンポジウム】[14:45~17:15]

- (1) 基調講演(14:45~15:25)
- 稲田 修一 情報通信研究機構 理事
- ICT技術の動向と産学官連携の強化に向けた取り組み(予定)
- (2) 基調報告(15:25~15:40)
- 西村 龍一郎 NetComさが 事務局長
- 「2007・青春佐賀総体」競技広域中継実験の実施について
- (3) パネルディスカッション(15:50~16:50)
- ～地域情報化の取り組みと産学官連携～
- 【コーディネーター】
- 尾家 祐二(九州工業大学 副情報工学部長)
- 【パネラー】
- 川島 宏一(佐賀県 最高情報統括監)
- 山崎 正幸(九州経済連合会 情報通信委員会企画部会長)
- 升屋 正人(鹿児島大学 学術情報基盤センター長 教授)
- 青木 栄二(ハイパーネットワーク社会研究所 事務局長)
- 井上 英幸(宮崎地域インターネット協議会 事務局長)
- ～フリーディスカッション(16:50~17:15)
- 九州情報通信連携推進協議会に期待すること
- (4) 閉会挨拶